



# CHAPTER 36

## リソース管理および SIP の統合

IETF RFC 3312 に準拠した場合、メディア ストリームを使用する前に、コールのエンドポイントでリソースが完全に予約されているかどうかを判別できます。この機能は、Resource ReSerVation Protocol (RSVP; リソース予約プロトコル) のように、個別の Quality Of Service (QoS; サービス品質) シグナリングが使用される場合に便利です。この機能を実装するために、RFC 3312 では、メディア ストリームの詳細度に新たに 3 つの a= 行を定義しています。エンドポイントは、これらの行を使用して、新しい Session Description Protocol (SDP) を採用するための予約情報および前提条件をシグナリングします。



(注) ACE SBC Release 3.0.00 では、この機能は統合モデルに限りサポートされます。

### リソース管理および SIP の統合サポート機能の履歴

リリース	変更内容
ACE SBC Release 3.0.00	この機能は、SBC 統合モデルのサポートとともに Cisco 7600 シリーズ ルータに追加されました。

## この章の構成

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「リソース管理の統合の制約事項」(P.36-1)
- 「リソース管理の統合に関する情報」(P.36-2)

## リソース管理の統合の制約事項

次に、リソース管理の統合の制約事項を示します。

- この機能を実装すると、SBC はメディア状態の報告または前提条件の生成を実行しません。前提条件が存在するかどうかを検出し、存在する場合には、必須の前提条件がすべて満たされているかどうかを判別するだけです。
- この機能は、SIP 限定機能であるため、H.323 または SIP-H.323 インターワーキングではサポートされません。
- RFC 3312 シグナリング プロシージャでは、必須の前提条件が満たされている場合に限り、メディアの再ネゴシエーションが完了します。

## リソース管理の統合に関する情報

SIP メッセージの Require または Supported ヘッダー フィールドに前提条件タグが存在すると、SBC はメッセージのパススルーを許可します。また、SBC は、状態および前提条件を示す未修正 SDP のパススルーも許可します。

オファーの処理に失敗すると、基盤の SIP メッセージが拒否されるか、コールがティアダウンされます。応答の処理に失敗すると、失敗の原因に関係なく、コールがティアダウンされます。